

人材交流で世界をつなげる

# J LINES (PRIVATE) LTD

株式会社ジェー・ラインズ  
(スリランカ送り出し機関)



協力/支援：

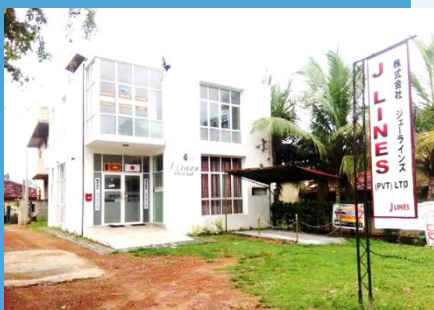


人材交流で世界をつなげる

# J LINES の実績

年度	職種	人数
2019/20年	機械保全	3
	自動車整備	2
	溶接	2
	鉄筋工	2
	とび工	3
	自動車整備	1
	とび工	3
	鉄筋工	2
	自動車整備	1
2021年	コロナによる入国制限のため送出し不可	
2022年	建築配管	2
	型枠施工	2
	型枠施工	2
	掘削作業	2
	鉄筋施工	2
	建築塗装	2
	型枠施工	1
	建設機械施工職種（掘削作業）	1
	型枠施工	2
	自動車整備士	1
	建設機械施工職種（押土・整地作業）	2
	自動車整備士	1
	型枠施工	3
2023年3月時点	鉄筋施工	2
	溶接・手溶接	2
合計		46人

# 会社概要



## Vision

国境を越えた合理的な人材育成の為に、最適で強力な架け橋になることを目指しております。

## Mission

教育レベルが高いスリランカの高礼儀正しく優秀な若者を、優れた技術力がある日本企業へ紹介することによる合理的な人材育成、企業様の経済成長そして、立派な国際交流による両国の経済発展を希望しています。

## Outline

会社名	J Lines Private (Limited) 株式会社ジェー・ラインズ
所在地	106番、コッターワ・ロード、ピリヤンダラ、スリランカ
TEL	+94-112-617180
FAX	+94-112-617180
Email	<a href="mailto:jlines@jlines.org">jlines@jlines.org</a>
WEBサイト	<a href="http://www.jlines.org">www.jlines.org</a>
設立	2016年12月14日
会社法人番号	PV118668
送出機関登録番号	3161
納税者照明番号	100985403
取締役	シターラ・サングルワン
経営戦略責任者	道垣内 文夫
総務担当重役	Chamila Wijesinghe(弁護士/行政書士)

## 関連会社

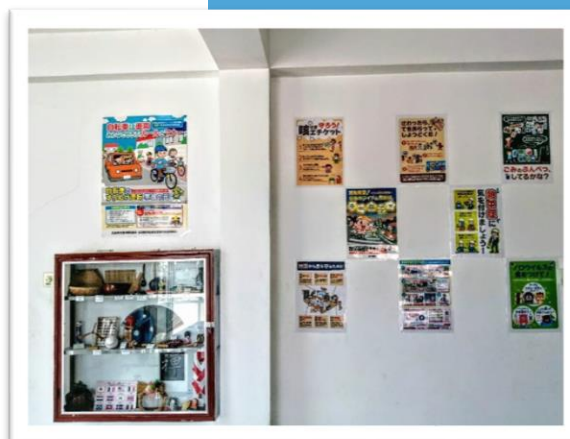
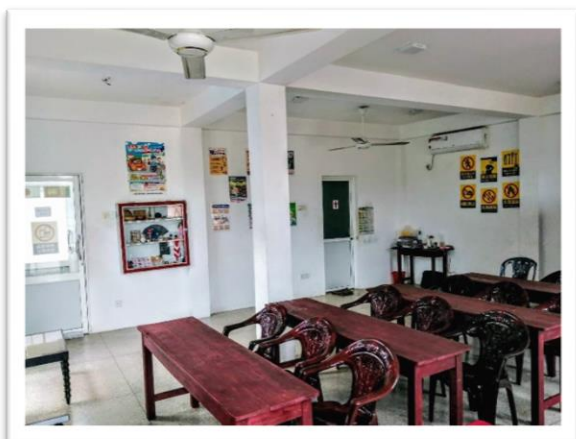
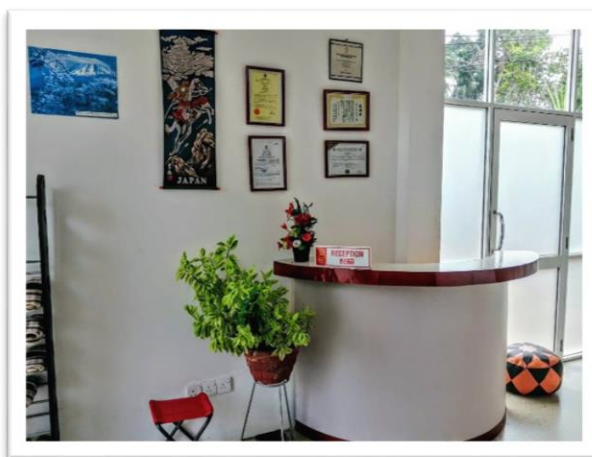
会社名	株式会社ドーゴーチ
所在地	〒734-0034 広島市南区丹那町47-12
TEL	082-250-9701
FAX	082-250-9702
Email	<a href="mailto:dogochi@nifty.com">dogochi@nifty.com</a>
WEBサイト	<a href="http://www.dogochi.com">www.dogochi.com</a>

私  
た  
ち  
は  
人  
材  
交  
流  
で、  
世  
界  
を  
つ  
な  
げ  
ま  
す。

# 事務所



ジェー・ラインズのスタッフ



## ジェー・ラインズ代表 シターラ・サンダルワン

### 経 歴

- 2005年 サバラガムワ大学 入学
- 2009年 サバラガムワ大学 卒業
- 2010年 広島YMCA 入学
- 2013年 広島YMCA 卒業
- 2013年 株式会社ドーゴーチ 入社
- 2015年 J LINES(PRIVATE)LTD設立、取締役就任



### 保有資格

- ・実務技能検定協会主催 秘書技能検定 3級
- ・一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 835点
- ・公益社団法人全国経理教育協会 簿記能力検定 3級
- ・社団法人日本ホテル・レストランサービス技能教会 レストランサービス検定 3級
- ・公益社団法人日本国際教育支援協会 日本語能力試験 1級
- ・一般社団法人 I C A M カラー 2級
- ・マツダ(株)安全健康防災推進部 火気監視者
- ・公益社団法人 広島県労働基準協会 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者

### 挨 拶

スリランカと日本を繋ぐ大きな架け橋になり、勤勉で、真面目なスリランカの若者を日本企業様に紹介して、お互いにとって役に立つ国際的な業務に貢献したいと思うので、宜しくお願い致します。

### 実 績

#### JITCO (公益財団法人 国際研修協力機構) 資料 をスリランカ語へ翻訳

JITCOのウェブサイトにはスリランカ語の資料はありませんでした。若くて優秀で技術力のあるスリランカの若者を、なんとかして日本の企業に紹介したいという強い意思があったシターラは、JITCOの技能実習生向けガイドブックをスリランカ語に翻訳して提出したところ、JITCOのウェブサイトに採用されました。この事が高く評価され、2016年9月25日にJITCOより感謝状を授与していただきました。



「両国の支えあいになる良好な交流を続けたい・・・」

J LINES(PRIVATE)LTD (以後「J LINES」)の関連会社である株式会社ドーゴーチの代表取締役 道垣内文夫がスリランカへ旅行した際、伝統文化に触れ、強い興味を持ちました。また、一生懸命に働いているスリランカの人姿を見て「この国で会社を起して、両国の支えあいになる良好な交流を続けたい」という思いを抱きました。

そんな道垣内のもとに、シターラ・サンダルワンが株式会社ドーゴーチに入社してきました。彼はスリランカと日本の良好な関係を望み、その架け橋になる事を夢見て入社しました。

その後、道垣内のスリランカに対する強い思いと、シターラの「若くて優秀で技術のあるスリランカの若者をなんとかして日本の企業様に紹介してあげたい」という思いにより、2015年12月にスリランカのピリヤンダラにJ LINESが設立されました。

2018年1月1日にJ INESはスリランカ民主社会主義共和国 外務省海外雇用庁 (SLBFE) の認可を得て、2018年の2月からスリランカ・ピリヤンダラの営業所で事業を開始しております。

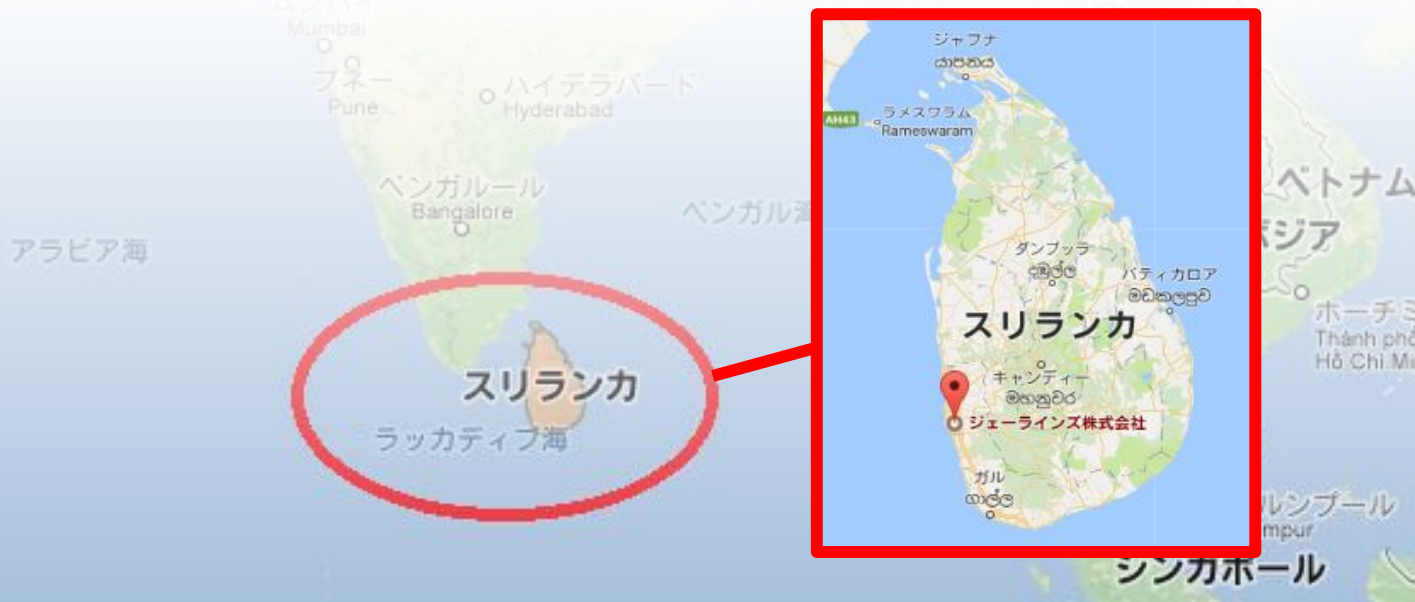
**送り出し機関登録証明書**

**J LINES 登記証明書**

# スリランカ -Sri Lanka-

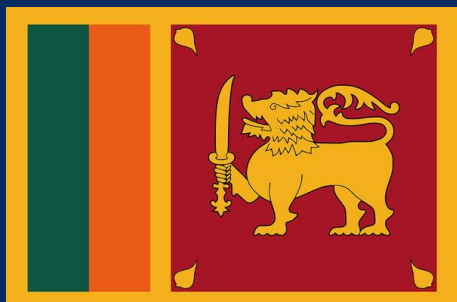
## インドの涙、真珠と言われる共和制国家スリランカ

1948年2月4日、イギリスから自治領（英連邦王国）のセイロンとして独立。  
1972年にはスリランカ共和国に改称して、英連邦内の共和国となり、  
1978年から現在のスリランカとなりました。



## 日本との経済関係

貿易額は約1,022.3億円（2016年）で、日本はスリランカにとって重要な貿易相手国（輸入は第3位、輸出は第10位）。日本の輸出760.2億円。主要輸出品目は自動車、一般機械、電気機器、織物用糸及び繊維製品、プラスチック。日本の輸入262.1億円。主要輸入品目は紅茶、衣類及び同付属品、魚介類（まぐろ、えび等）、植物性原材料、非金属鉱物製品（宝石）。（2016年、日本財務省貿易統計）  
2016年10月現在、日系進出企業は75社（現地商工会所属企業は63社）。製造業、商社・サービス業、建設業が進出。



正式名称	スリランカ民主社会主義共和国
公用語	シンハラ語、タミル語
首都	スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテ（最大都市はコロンボ）
面積	65,607Km <sup>2</sup> （北海道の面積の約0.8倍）
人口	約2,103万人
宗教	仏教（70.1%）、ヒンドゥー教（12.6%） イスラム教（9.7%）、キリスト教（7.6%）
気候	平均気温は年間を通して24～29℃程度
物価	月収は日本円でおおよそ2～4万円とされています
通貨	スリランカルピー（LKR） 1円=1.63ルピー（2020/2/20現在）
時差	日本時間から3時間30分遅い
主要産業	農業（紅茶、ゴム、ココナッツ、米作）、繊維業

## スリランカの経済状況

スリランカ経済は、紛争の終結による復興需要や経済活動の活性化等によって、2012年に過去最高となる9.1%の経済成長を達成した。2014年4.9%、2015年は4.8%、2016年4.4%成長と持続的な経済成長を遂げている。2016年の失業率は4.4%。インフレ率は一桁台に留まっており、2016年は3.9%。2016年の貿易は、先進国の景気減速や輸出志向農産品供給の混乱等の影響から輸出額は2.2%減へ減少した。輸入額は、一般機械及び建設機材などの投資財、及び繊維製品の原料、ダイヤモンドなどの中間財の輸入増の影響から2.5%増となり、貿易収支の赤字幅は拡大した。外貨準備高は2017年1月末時点で45億ドルへと減少した。また、海外からの観光客数は治安の改善を受けて改善しており、2016年は初めて200万人を突破した。2016年4月、スリランカ政府はIMFとの間で3年間、15億ドルの拡大信用供与措置（EFF）に原則合意し（6月のIMF理事会で承認を得て正式合意）、6月及び11月に供与を受けた。

※日本外務省のウェブサイトより引用

## 日本とスリランカの間には、互いに助け合った意外な歴史

世界で一番早く正式に日本と外交関係を結んだのはスリランカでした。そのきっかけとなった出来事は、第二次世界大戦敗戦後の1951年サンフランシスコ講和会議。戦争に勝ったアメリカ、イギリス、ソ連、中国によって作られた「日本分割占領案」により、日本は4地域に分割される予定でした。当時のスリランカ大統領、ジャヤワルダナ氏は、「戦争に負けた日本にもう一度チャンスを与えるべき」「憎しみは何も生み出さない」と戦勝国に対しスピーチを行いました。その背景には、同じアジアの日本に対する深い尊敬の念があったそうです。「人はただ愛によってのみ憎しみを越えられる。人は憎しみによって憎しみを越えられない。実にこの世においては怨みに報いるに怨みを以てしたならば、ついに怨みの恩むことがない」

この演説によって戦勝国は日本占領に対する考えを変え、日本は分割されずに済み、結果日本が国際社会に復帰する道をつくったと言われています。



1951年 サンフランシスコ講和条約



スリランカ大統領 ジャヤワルダナ氏

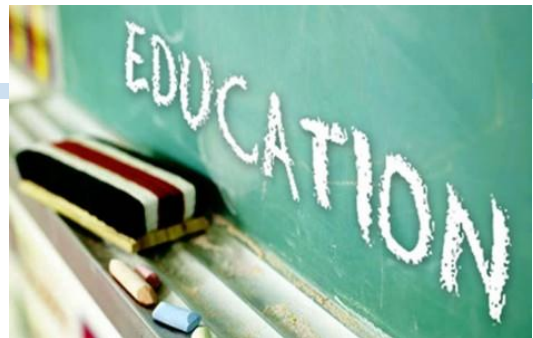


# なぜスリランカ？

アジア各国、様々な国から技能実習生が来日するなか、スリランカをお勧めする理由があります。

## 学力が高いスリランカ人

教育制度は小学校5年，中学校4年，高校が前期2年，後期2年，大学4年となっています。社会主義国のため公立学校では大学まで無償である。スリランカの識字率は92.5%で、これは他の第三世界の国々と比べて極めて高い数字であり、南アジアでは最も高く、アジア全体で見ても高い数字です。技能実習生になるスリランカ人の若者が理解力のある優秀な者であることは当然でしょう。



## 豊かな職業訓練環境

スリランカの技術・職業訓練は職業技術訓練省の管轄のもとで国立徒弟・工業訓練公社（NAITA），セイロン・ドイツ技術訓練所（CGTTI），職業訓練公社（VTA）や技術教育訓練局（DTET）で約320校が運営されています。

なかでもDTETはその中核機関として傘下に36の技術学校を抱える。これらの技術学校で実施する訓練は電気，電子，機械，溶接，自動車整備，木工，配管，IT，冷凍，空調，会計，秘書等80コースと多岐にわたる。訓練期間はフルタイム，パートタイムにより異なるが6ヵ月および1年間コースが主流である。

J LINESのシターラが技能実習生制度の発展の為、技能実習生向けの日本語のガイドブックをスリランカ語に翻訳し、JITCOに提供しました。この事はJITCOより高く評価されました。

技能実習生制度を良く理解した上で、優秀な技能実習生を日本へ仲介しようと計画しているJ LINESを理解して頂き、現在も情報の共有をJITCOとJ LINESで行っております。また、今年から随時J LINESを通じ、続々と技能実習生が入国してきます。



▲ JITCOからの感謝状

年度	人数
2019/20年	19人
2021年	コロナによる入国制限のため、入国不可
2022年	23人
2023年（3月の時点）	4人
実績のある職種	とび、型枠、鉄筋、機械施工、塗装、機械保全、溶接、掘削、自動車整備
対応可能な新職種	介護、農業、食品製造等

▲ 2020年2月20日現在のデータ

## レベルの高い日本語教育

来日前の講習は約6カ月です。講習期間中は日本語教師の資格を取得している講師による日本語のレッスンを実践しています。N5は必ず合格し、入国します。目標はN4までの日本語能力を身につけさせることです。JITCOによると、日本語能力の低い実習生が問題を起したり、失踪したりする可能性が高いようです。J LINESは日本語だけではなく、実習生が安全に日本で生活できる為にそして、効率よく技能実習活動をする為に必要な知識の習得を目指しております。



## 日本の習慣も習得

技能実習生は入国するまで、日本の生活様式をそのまま体験してもらう事で、日本の規則を教育しています。例えば、入室時にはスリッパを履く事や、ゴミの分別等を体験してもらう事で、日本の規則を教育しています。



入国後、企業に配属され日本で生活が始まると、生活スタイルの違うから様々な問題がおこる場合があります。そのようなトラブルが無いよう、ジェー・ラインズでは、日本での生活が長いシターラが実習生に厳しく日本の習慣を教えます。

# 送り出しの流れ

企業様と監理団体間での話し合いが済んでからの流れとは・・・。

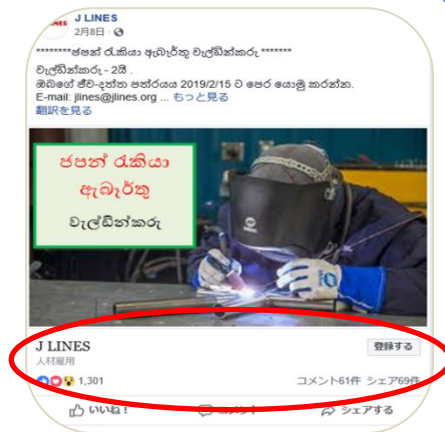
## 技能実習生の依頼

受け入れ企業様からの依頼が監理団体を経由して J LINES にはってきます。



## J LINES による募集

スリランカで技能実習生を募集します。J LINES では、データベース、SNS、新聞広告、技術専門学校等に案内を出し、募集を開始します。募集を告知する J LINES の Facebook の投稿には、たくさんの反応をいただいております。



## 受入企業様の面接

事前に書類選考を行い、受け入れ希望人数の3倍程度の人数まで実習生候補を選抜。その中から受け入れ企業様に面接していただきます。必要に応じて技能の確認も可能です。主にスカイプ面接が多いですが、現地での面接を希望される際は空港からの送迎等も対応いたします。



## 送り出す前の準備

受け入れる実習生が決定すると、受け入れ契約を締結し、組合にて在留資格認定証明書を行います。同時に、実習生の「入国前講習」がスタート！



## 入国前講習では・・・

J LINES の「入国前講習」では、約4ヶ月以上の期間、基本的な日本語、最低限の日本の生活マナーや法律、文化などについて学びます。また、スリランカと日本での2国間協定により「日本語能力検定N5」を取得しないと入国できません。



## 日本へ入国

入国が認められ、在留資格が与えられた技能実習生が、技能実習活動を行うため日本へ移動。入国後、監理団体の下でさらに約1ヶ月間、「入国後講習」を行ったのち、各企業様へ配属されます。



## J LINESでの 入国前の活動写真



(上) 技能実習制度についてのセミナーの様子。制度の詳細、日本で働くこと、日本での生活などについて説明します。まずは、実習生たちの不安を無くし、前向きな気持ちで日本へ送り出すことが大切と考えています。

(下) 面接はスカイプ面接や、現地面接どちらでも対応可能です。写真の様子は、実際行う作業について、現地面接の際に受け入れ企業の社長にご説明いただきました。

空港からの送迎や時間に余裕がある場合は、有名観光地への案内も行います。

J Linesでの日本語教室の様子。「日本語能力検定N5」取得が必須になるため、一生懸命日本語学習に取り組みます。目標はN4まで教育を受け、入国することです。

## J LINESでの 入国前の活動写真



J LINESを訪れた日本人との交流。日本語を学ぶためには実際に日本人と触れ合うことが大切。可能な限り日本人と接する機会を作るように心がけています。



(上) 自動車整備に必要な道具について質問しているところです。

(下) 溶接の実技を確認しているところです。  
必要に応じて面接だけではなく、業種に合わせた実技試験も行います。

採用が決まった技能実習生が、保護者と一緒に改めて「技能実習生とはどういうものなのか」説明を受けている様子。J LINESでは実習生だけでなく、保護者にも技能実習制度を正しく理解していただきます。そうすることで、問題視されている技能実習生の失踪問題を無くすよう働きかけます。

